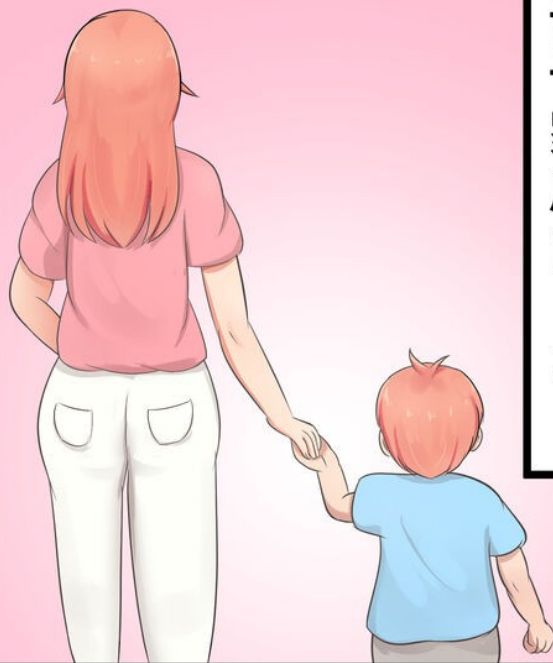


息子を溺愛するお母さんが
甘やかしセツクスを
してくれる話

自慰ざい

この漫画はフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

物心ついた時には
母子家庭だった



そのせいか
お母さんは
僕をいつも
甘やかしてくれた



むぎゅっ♡

思春期に入った時も
お構いなく抱きしめてきて
戸惑ったことも少なくない

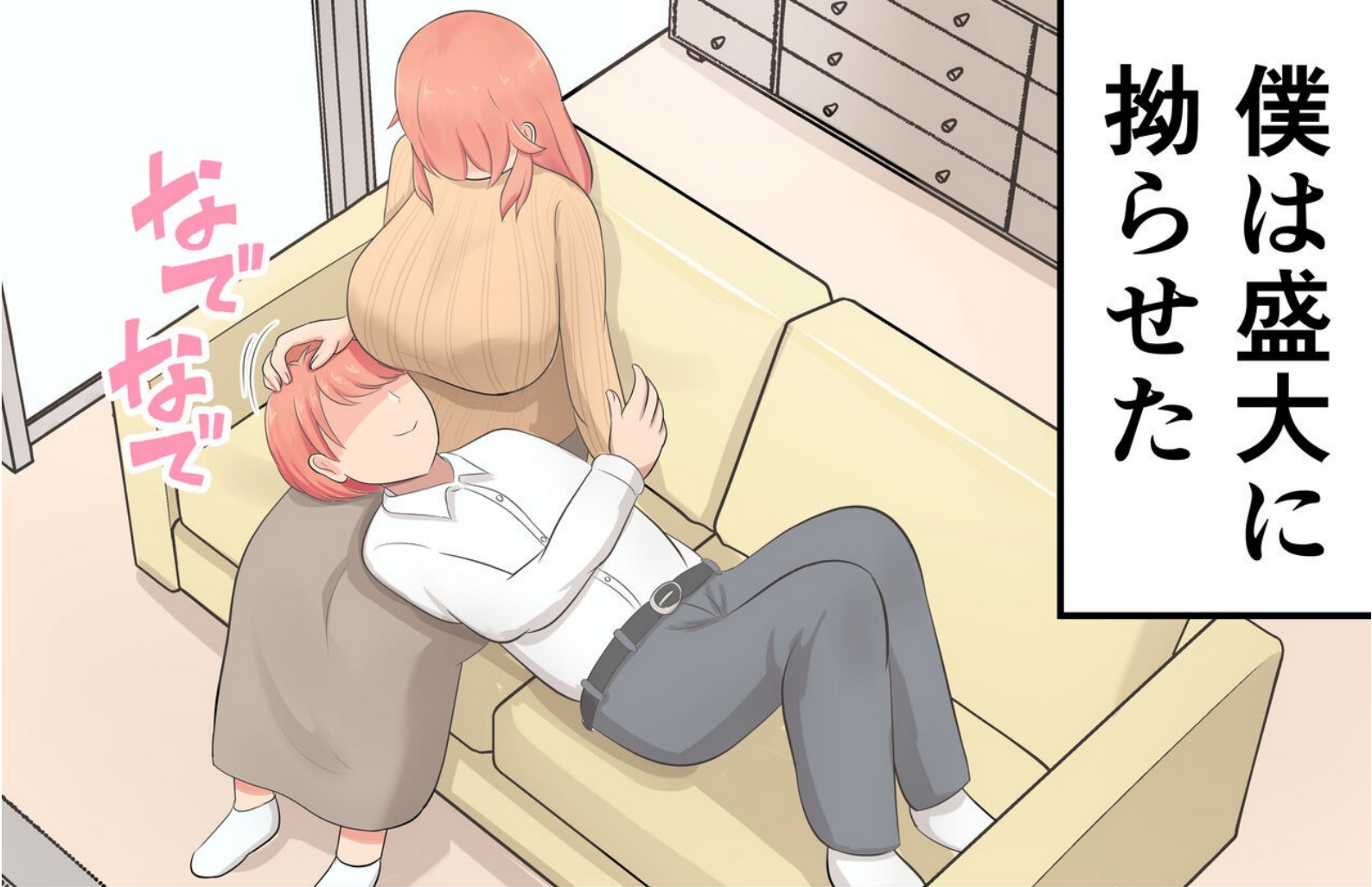


そして社会人になっても
そんなスキンシップが
変わらなかった結果

ただいま



僕は盛大に
拗らせた



現在はお母さんに
対して愛情だけでなく
劣情もいだいていて



今もちんこは
ギンギンだ



本当は親離れ
すべきだろうが

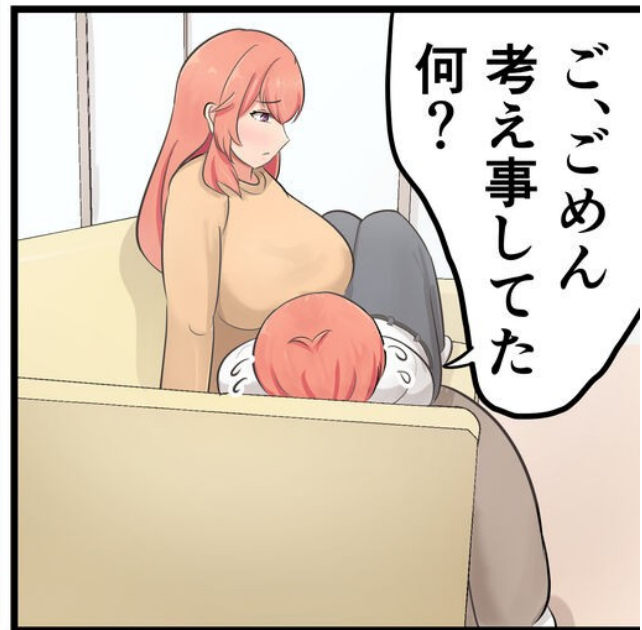
このおっぱいの
魅力には抗えない



最近は勃起したちんこを
悟られないようにしつつ

お母さんの体の感触を
堪能している





だってなおくんの
おちんちん
大きくなってるし

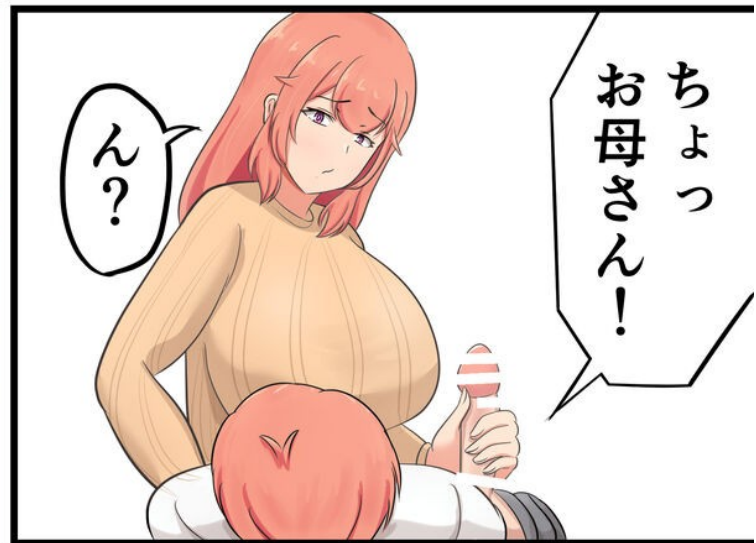
いや、これはその
最近疲れてて

お母さんだって
馬鹿じゃないから
分かるのより

なおくん
お母さんのこと
エッチな目で
見てるでしょ♡

うっ!!
ごめんなさい

いいのより♡
むしろお母さん
嬉しいくらいだわ♡













お母さんのお手で
気持ちよかったね♡





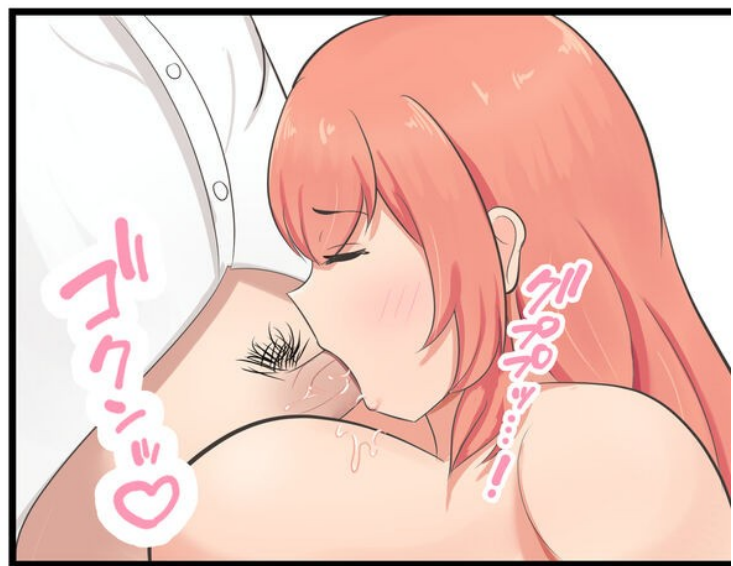
なおくんのおちんちん
ビクビクしてるよ♡

そんな反応されたら
もっと甘やかしたく
なっちゃうな♡



ちゅぽ♡







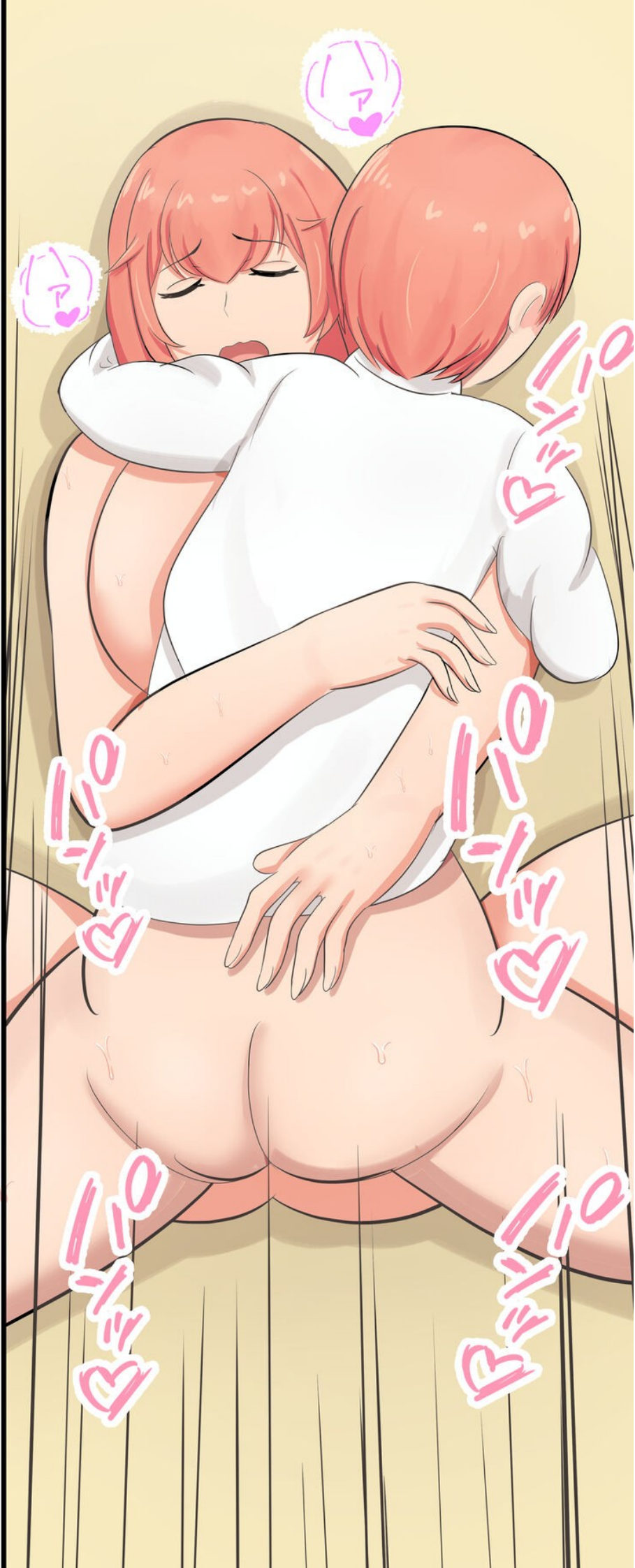
いいよ

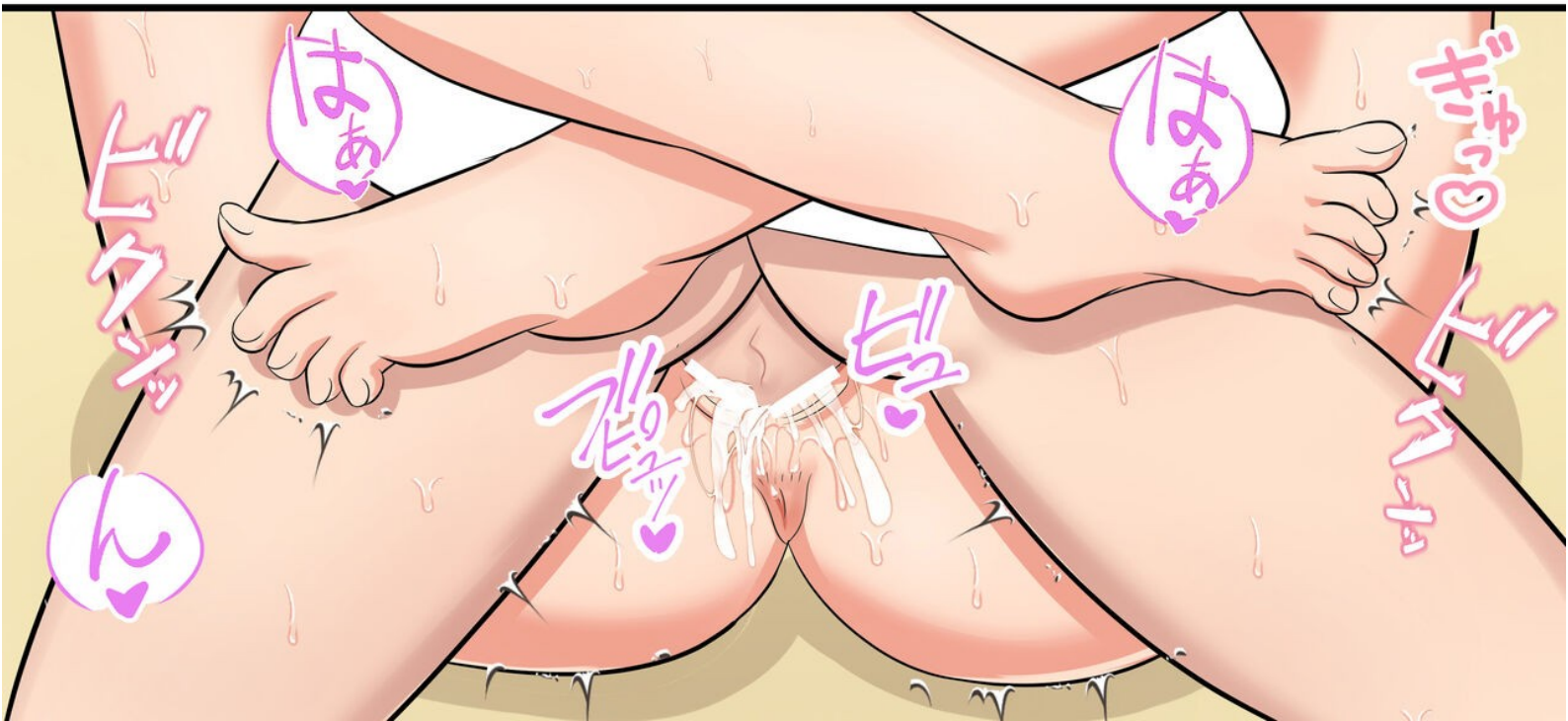
お母さんのおまんこに

いっぱい
甘えて♡

グググ♡
グググ♡

グググ♡
グググ♡





翌日から僕は性欲をすべて
お母さんにぶつけるようになった



お母さんはそんな僕を
嬉しそうに受け入れてくれた

そんな日々を送る中
僕はお母さんに
あるお願いをした

た、ただいま！

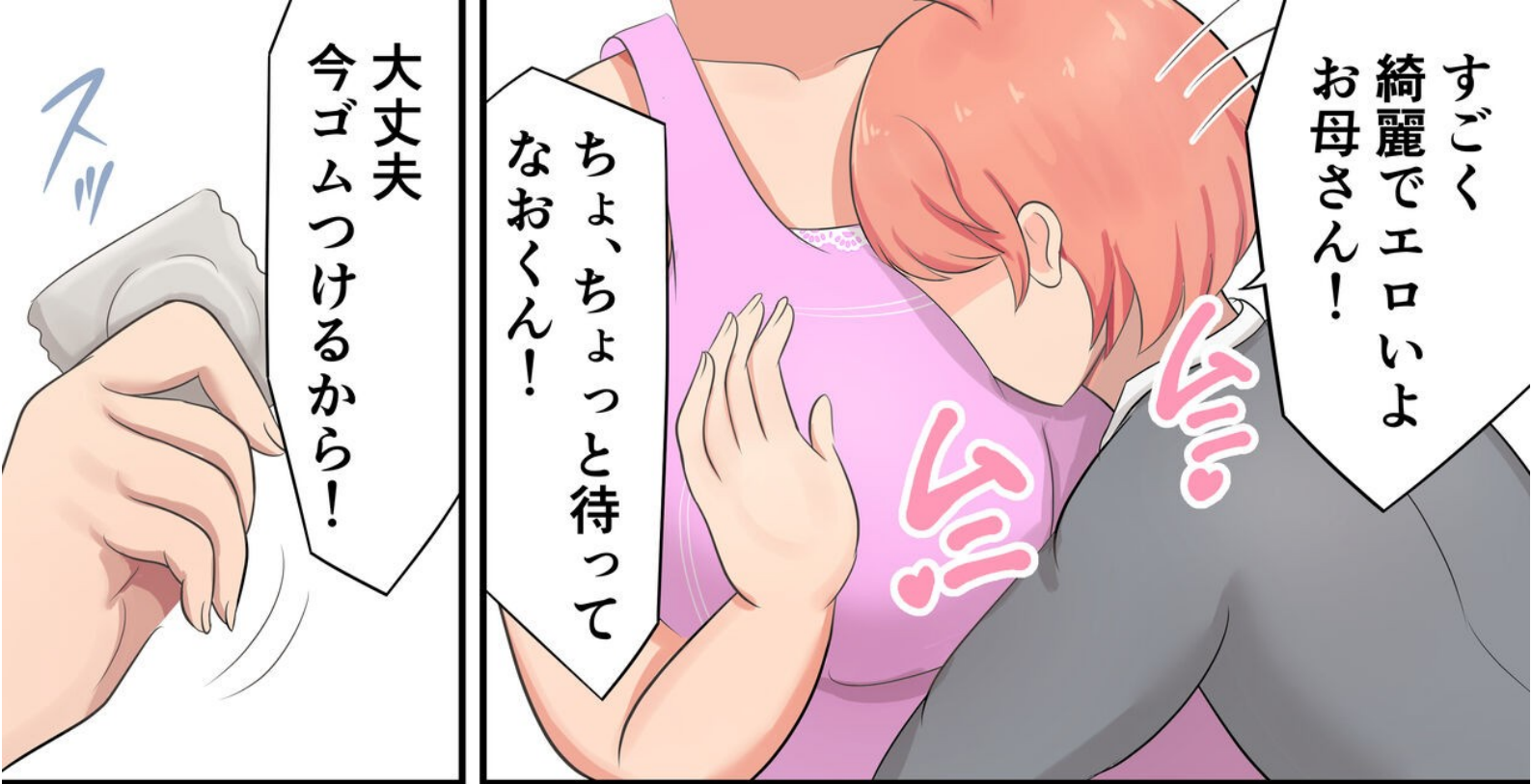
お、お帰り
なおくん…

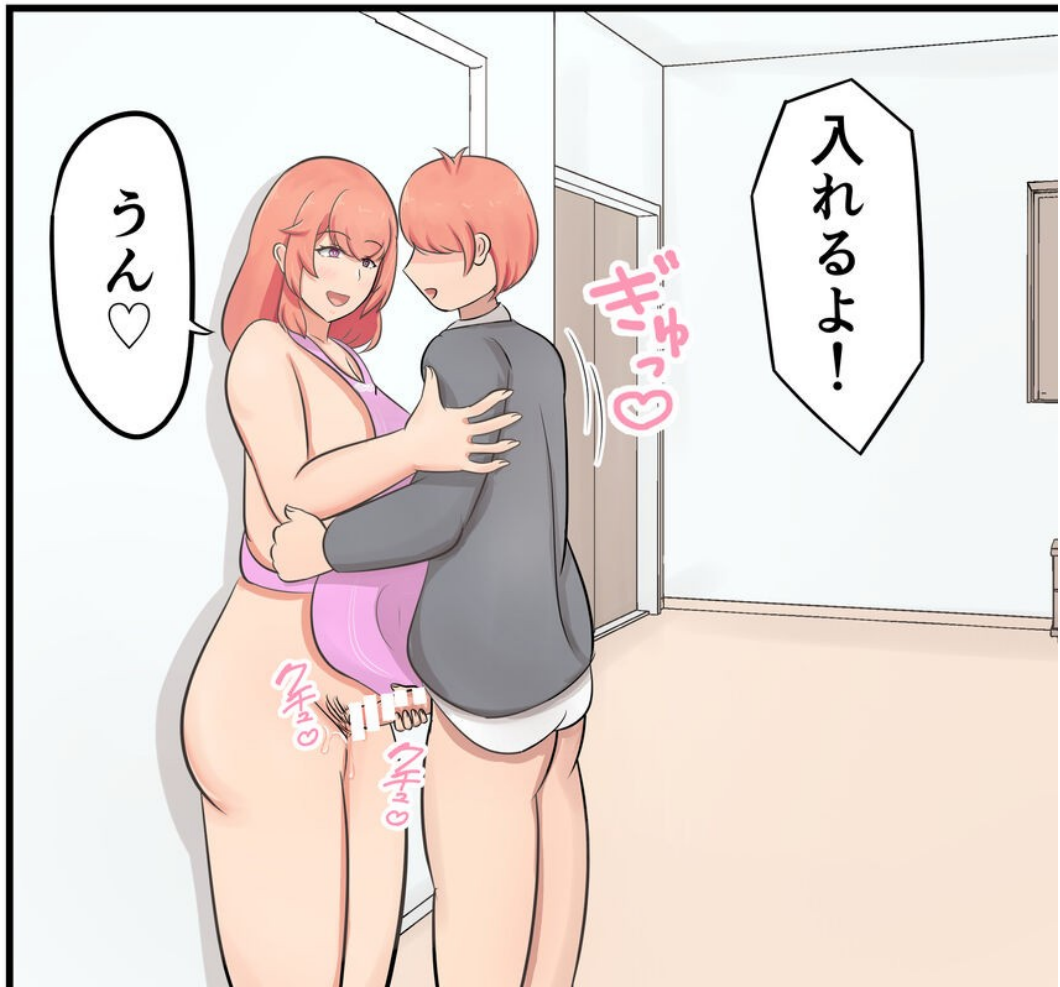
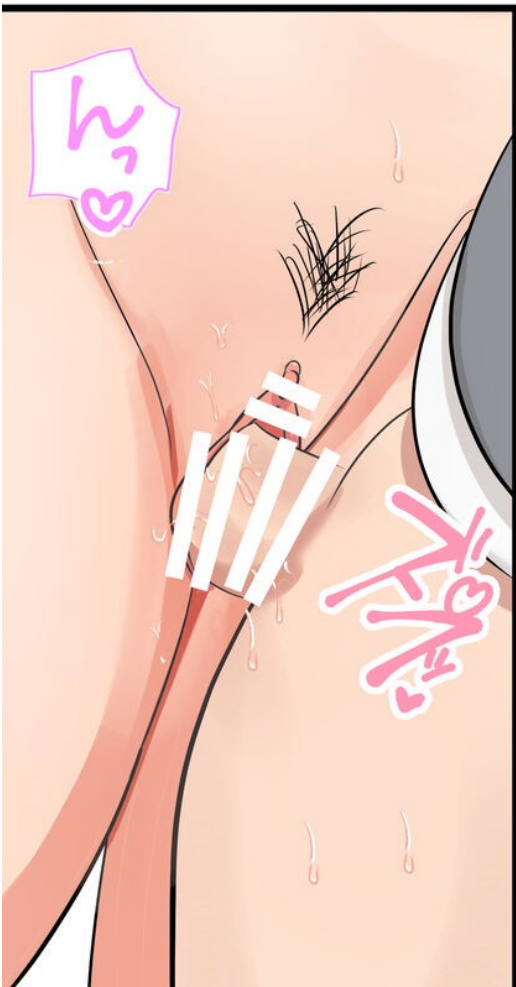
か
っ
♡

むち、
♡

むち、
♡

お母さん
流石にこれは
恥ずかしいわ♡









ご飯の用意
するから



いいけど
ちよつと待って

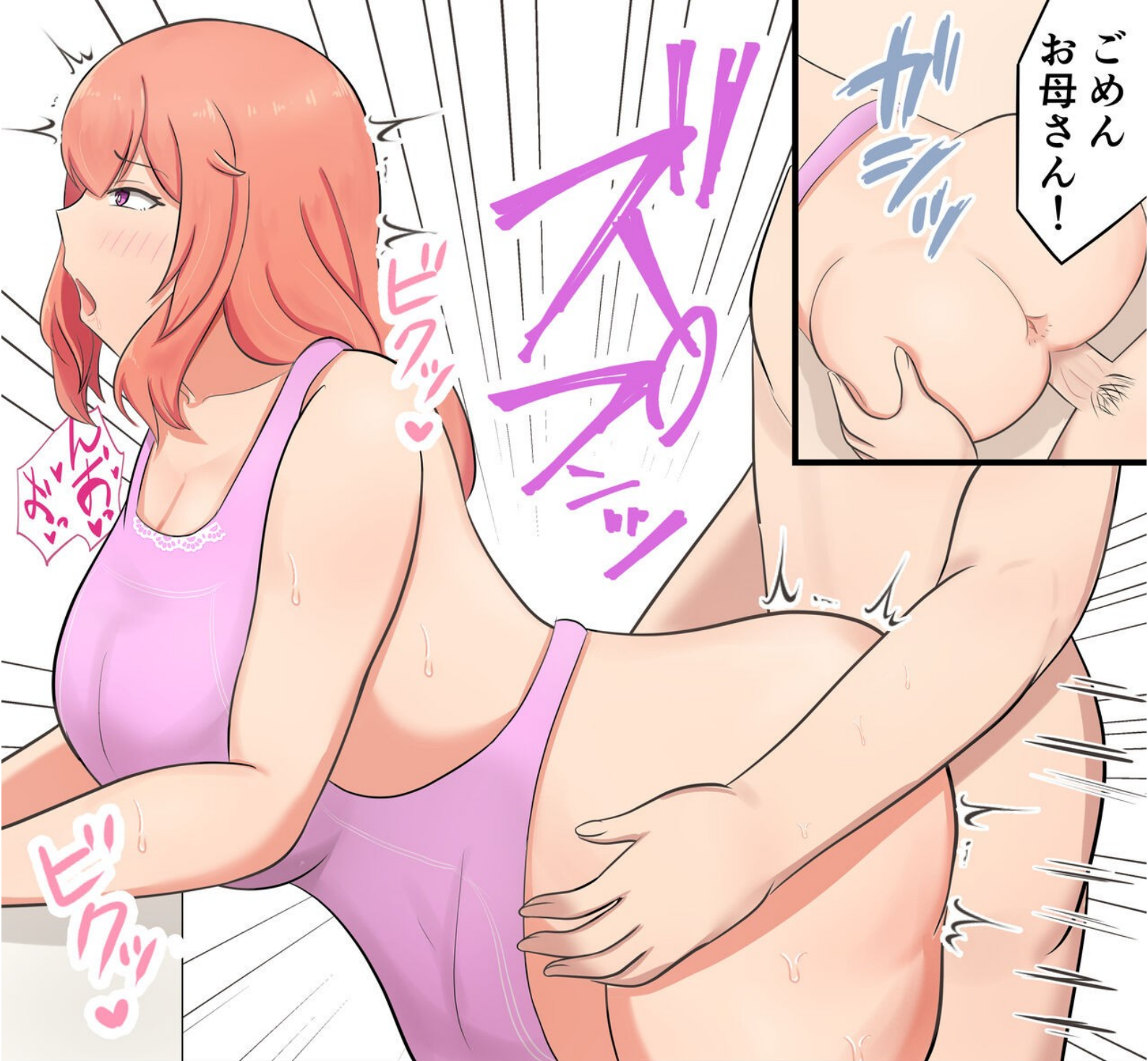
お母さん
もう一回…



たんっ
たんっ

おち、
♡

おち、
♡

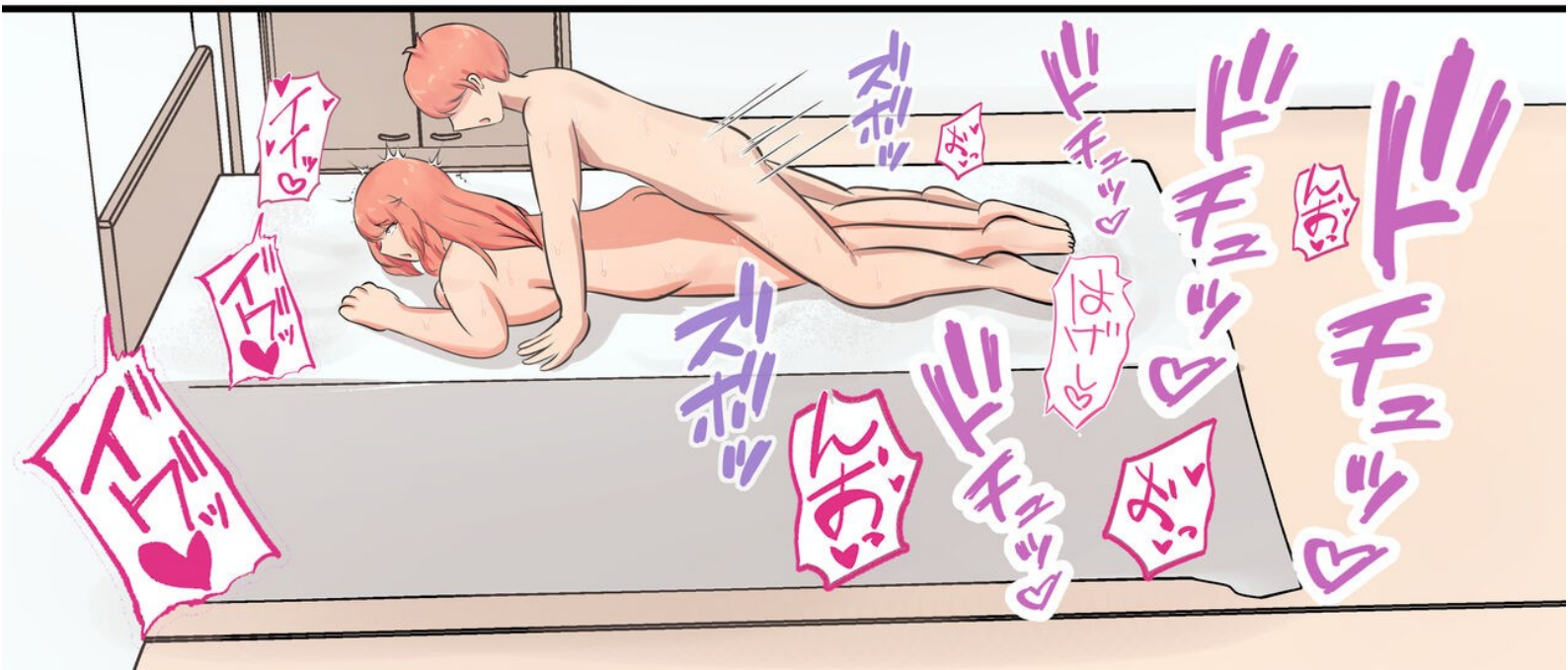
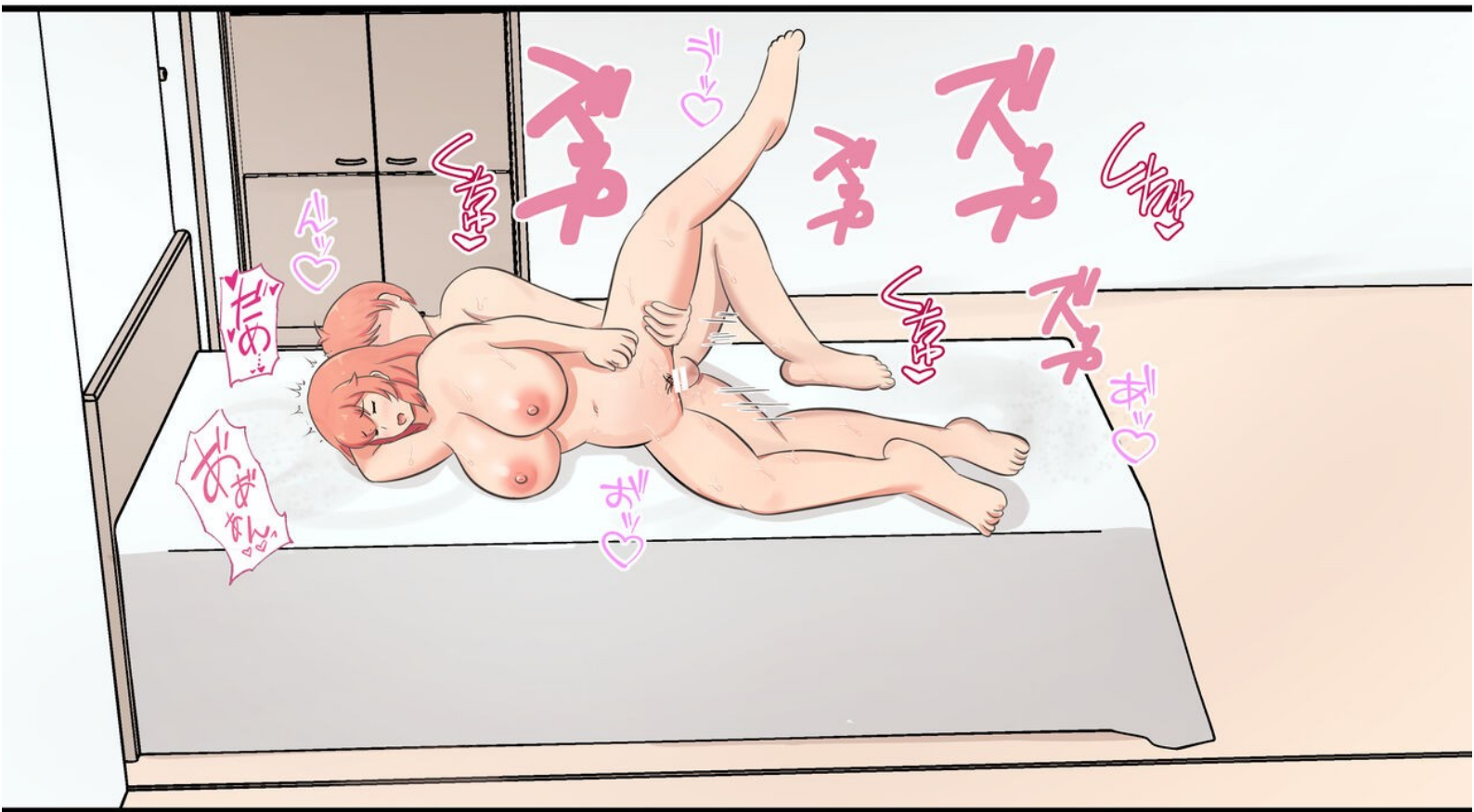








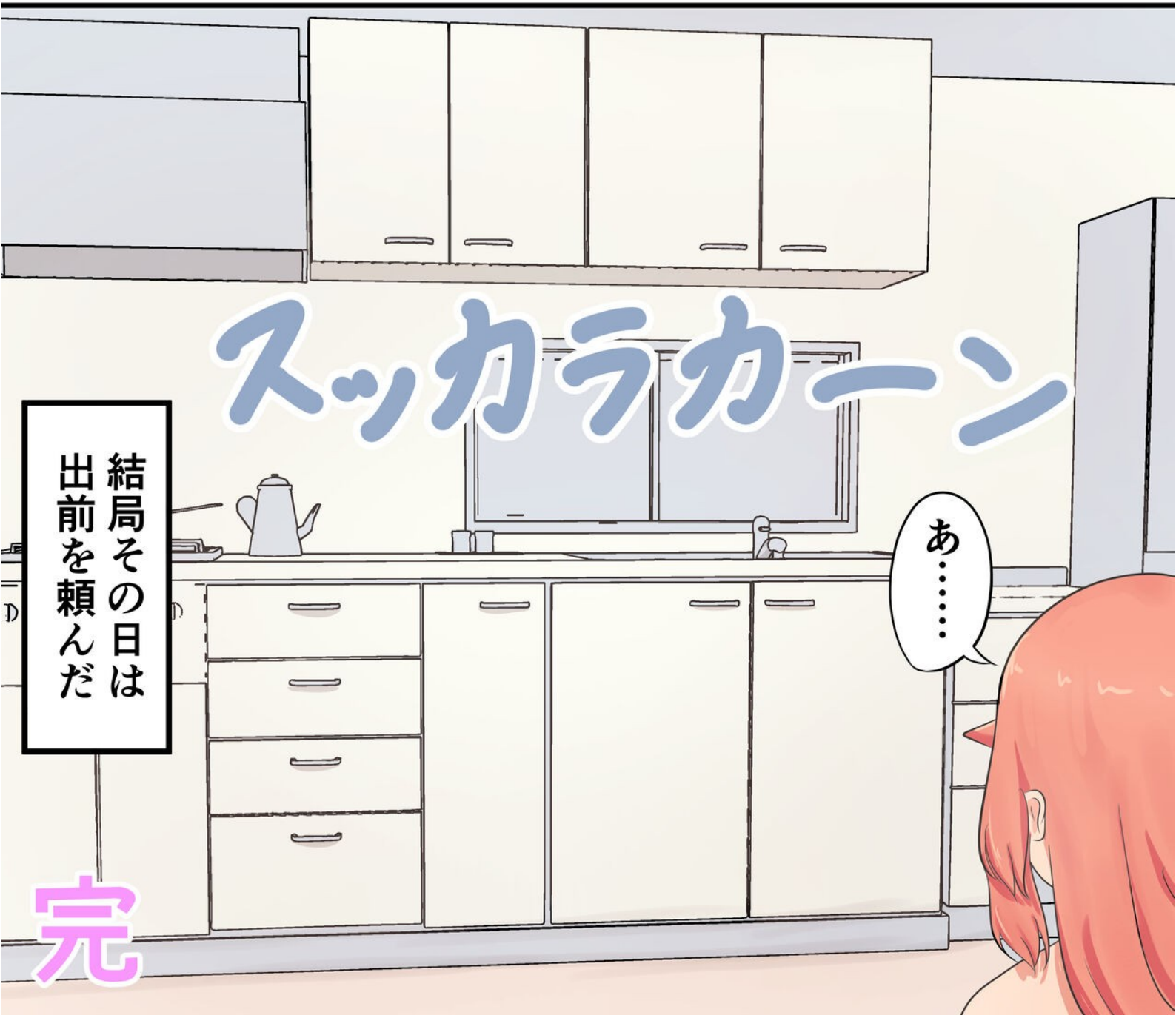












スッカラカーン

結局その日は
出前を頼んだ

完



ご購入いただき
ありがとうございました♡